

# METTS NEWSLETTER

## 教職課程センター・地域学校教育センター

### 特集：「大学生と話そう会」大成功！

5月28日、2023年度第1回「大学生と話そう会」が開催されました。都立飛鳥高校、都立南葛飾高校、都立葛西南高校、県立浦安高校の4校から、42人の高校生が参加し、そのうち22人は様々な国や地域の背景をもつ外国人生徒の参加者でした。また、8人の引率教員も参加してくださいました。高校生たちは、午前中にオープンキャンパスの大学紹介や学科魅力発見コーナーなどを見学した後、学生食堂マリーンズで学食を体験し、午後には30周年記念館ステューデントホールでの交流会に参加しました。

ボランティアスタッフとして教職課程を履修している本学日本人学生15人及び外国人留学生15人が高校生と一緒に15台のテーブルにグループを作り、交流会がスタートしました。

高校生からは、大学生活などについて熱心に質問が出され、大学生はそれぞれの知識や経験から高校生にアドバイスしたり話をしたりしていました。また、ディスカッションでは、昨年度と同様に、SDGsの目標として取り上げられている海洋資源、貧困、教育などの問題の現状、その原因や解決策について議論を深めました。

参加した高校生からは、「今回の体験で大学に進学したいという思いが一層強くなりました」などの感想が聞かれました。



### 2023年度足立区民対象「海外で役立つ初級英会話講座」第1クール始まる



5月21日、足立区との連携協定に基づき、足立区民対象「海外で役立つ初級英会話講座」の第1クールの第1回講座が足立区の「こども支援センターげんき」で開催されました。この区民講座は2017年から実施されているもので2022年のコロナ禍での中止もありましたが、今回で6年目となるものです。今回も抽選で選ばれた32人の区民（10代から70代）が全5回の講座を受講します。

講師は、本学地域学校教育センターの百瀬美帆教授、多言語コミュニケーションセンターのPatrizia Hayashi教授とTyson Rode准教授です。また、学生スタッフとして、教職課程履修の英米語学科3年の田中啓夢さん、富樫美智雄さんと安田結貴さんが受講者の活動をサポートしました。

受講者の一人である市川和俊さん(71歳)は、「足立区の広報を見て初めて応募しました。これまで(NHK)ラジオ講座は聞いていましたが、これは一方通行みたいなもので、今回のこの講座は外国人教師が直接教えてくれるので相互交流となり意義があると思います」と話していました。

## 教育実習体験記

今年も6月になって多くの4年生が教育実習に入りました。千葉県や東京都のみならず自身の地元に戻って中学校または高等学校で実習を行っています。今回は、教育実習を終えた3人の学生（日本語学科の網中萌恵さん、英米語学科の福岡拓馬さんと桑原百蘭さん）から実習での体験談を聞きました。

網中さん：母校の中学校で3週間教育実習を行いました。はじめは不安でしたが、素直で穏やかな生徒たちと真摯に指導して下さる先生方に囲まれて、充実した実習となりました。精練授業では、大きな課題として生徒の発言へのレシーブ力、発問の精度が挙げられました。生徒との交流の中で、中学校の教員になりたいという気持ちが一層大きくなったため、指導力、人間性を磨き、生徒と一緒に成長していける教員になりたいです。



網中萌恵さん  
実習校：銚子市立第三中学校



福岡拓馬さん  
実習校：浦安市立入船中学校

福岡さん：最初の1週間は場所や生徒に慣れず、教育実習を辞めたいと思う日が続きました。しかし、2週目からは緊張がほぼなくなり、生徒とコミュニケーションをとることができました。それだけでなく授業計画も指導教員のアドバイスもあって進められるようになり、ありがたみを感じることもばかりでした。精練授業では緊張感溢れる中でしたが、生徒の応援や指導教員の支えで無事終わることができました。上手くいくことは多くはありませんでしたが、やり切ることができてよかったです。

桑原さん：3週間母校で実習をさせていただきました。実習を通して、授業の軸を重要視すること、日常から生徒との信頼向上を図ること、自己研鑽を欠かさないことの3点を学びました。実習中は教材研究や授業準備に追われていましたが、生徒と話していると自然に疲れがなくなり、私は心から「この仕事に就きたい」と再認識することができました。この経験を糧に教師となり、私の夢である輝いた大人の姿を子供たちに見せたいと思います。



桑原百蘭さん  
実習校：私立文徳高等学校

## 日本語指導支援始まる

都立飛鳥高校、都立南葛飾高校に大学院生・学生が赴き、在京外国人生徒の日本語指導支援に当たっています。都立飛鳥高校全日制及びび定時制は週1回、都立南葛飾高校は週2回実施しています。担当している学生は、次のとおりです。

応用言語学研究科博士前期課程3年林苗さん、1年沈伽迪さん、浦野遥風さん、日本語学科4年李昊洋さん、高橋紅葉さん、茨田真愛さん、姜チョウ健さん、チン ヴァン コンさん、ヴ バオ ゴックさん



支援内容を協議する学生たち

## 文部科学省事業4年連続の受託決定！

文部科学省から「教員養成機関等との連携による小学校外国語の専門人材育成・確保事業」を委託されました。文部科学省を始め参加者からとても高い評価を得たため4年連続での受託となりました。METTSの教員が主体となり外部講師も招きながら、合計15回のオンデマンド・オンライン講座を提供します。今年度は足立区、浦安市、横手市、いわき市、妙高市、狛江市、鉏路市、岐阜市、土浦市、前橋市の10区市の小中学校教員が受講します。

アゴラ活用状況（人）	
5月	473
2018年からの延べ数	60,430